



すずしろ 22 2022 3月報

すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴 22世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

援農状況 2022年2月の援農集計

	援農時間(h)	参加人数(人)	参加延べ人数(人)	農家数(軒)
2022年2月	1,417	52	374	20
2021年2月	1,387	50	377	17
増減	+30	+2	-3	+3



2月は、1月に続き、寒い月となりましたが、長ネギ、人参、里芋等の収穫・出荷作業、原木椎茸菌打ち込み作業が続きました。またブルーベリーの剪定や竹林の整備等が行われました。畑では、春の植え付けに向けて、ハコベやホトケノザ等の草取りも始まりました。また、じゃが芋の植え付け作業などが始まっております。

2月の援農時間は、昨年と比べ、微増となりました。協力農家さんの数も増え、順調な援農活動が続いております。畑作業が本格的に始まり、援農のご依頼が増えてくる3月ですが、「春に3日の晴れ無し」、天気が安定しないこの時期、体調管理にも十分ご注意の上、援農にご協力頂きますようお願い致します。(援農サポータ 北尾)

理事会報告 3月度理事会 (3/17(木)17:30~21:00 大横保健福祉センターにて。6名出席)

- ① 総会後の届け出等、② 6月開設の新農園について、③ 竹の子掘りの計画、④ 農林課運営市民農園の業務委託・・・受けないこととした。
- ⑤ 入会条件に年齢を付加すべきか。定款には入会条件として年齢制限は無いが、入会希望者で80代以上の方には、援農の機会や援農先が限定されることをお伝えすることとした。



援農窓口会議報 第1回援農窓口会議 (3/22(火) 大横保健福祉センターにて。8名出席)

注意事項：実績表への記入漏れや乱筆・30分単位での援農実施、各農家さんの状況、新規入会者はじめ一般会員の援農状況について情報の共有を行った。

事務局より 「コロナ感染予防について」 援農サポータ北尾

「まん延防止等重点措置」が解除となりましたが、新規感染者数がなかなか減りません。引き続き、感染予防に努めて行きましょう。なお、コロナに感染、あるいは濃厚接触者となった場合には、医療関係者の指示に従い療養して頂くとともに、農家さんだけでなく、援農窓口の方にもご連絡をお願いいたします。援農窓口の方は、詳しい状況等をヒヤリングし、援農サポータ北尾までご報告をお願いいたします。以上ですが、引き続き日常の感染予防とともに、万が一感染した場合にも感染の拡大を防ぐよう、ご協力をお願いします。



竹の子掘りのお知らせ 常盤牧場で竹の子掘りを行います。

掘った竹の子は、1kg350円での買い取りとなります。

- ・場所 : 寺田町、大恩寺向かい
- ・参加費 : 会員は無料、非会員の方は保険代として1人100円、中学生以下は50円
- ・持ち物 : つるはしやスコップ、竹の子を入れる袋、飲み物、汚れてもいい服装
- ・日にち : 4/16(土)、17(日)、23(土)、24(日)、29(金)、5/1(日)、3(火)、5(木)
- ・時間 : 8時~10時、10時~12時(何れかの時間帯で申込を受け付けます)
- ・問合せ・申込 : 小西 (konishi@rice.ocn.ne.jp、090-5525-0205)



農園だより

- ① 小比企町に8ヶ所目となる「青空ファーム」を3月にオープン。全9区画にご応募頂きました。
- ② 小比企町に9ヶ所目となる「ひまわり農園Ⅱ」を5月中旬～6月上旬に開設の予定です。1区画50㎡（利用料17,000円/年）で12区画を計画しています。
- （問い合わせ先）合津 080-1351-4860 清水 080-3347-6491



通常総会報告

2022年度（令和4年度）通常総会

（2月27日（日）10時～12時、台町市民センターにて）

- I、理事長挨拶・・・『日頃より会の活動にご協力とご支援を頂き、ありがとうございます。また、農家会員の皆様には、厳しい経済環境下の中で、令和4年度からの謝礼金改定にご快諾頂きましたこと、この場をお借りし、改めて御礼申し上げます。令和3年度の活動を総括しますと、コロナ感染拡大により料理教室ができなかった他は活発な活動が展開されました。援農活動においては、昨年に引き続き農家のご活躍と、援農に参加頂いた多くの皆様のご協力のおかげで総援農時間が過去最高の2万時間を超えたことは、八王子農業の活性化を目的とする当会の活動に弾みをつけるものであり、喜ばしく思います。また、市民農園においては、地主農家のご協力により、新たに2ヶ所を開設しました。これで7ヶ所となり、100名を越す多くの皆様にご利用頂いております。年々着実に活動が拡大され、当会に対する皆様のご期待の大きさを実感すると共に、これと表裏一体の責任の重さも増していることを痛感している次第です。当会の活動をしっかりと継続すべく、理事一同が一丸となって運営に務めて参る所存ですので、皆様には今後ともご指導とご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます』
- II、議長に水上昭太郎氏、議事録署名人に川村美恵子氏、鳴海有理氏を選出。正会員129名のうち、出席14名、書面議決書と委任状を合わせて79名、合計93名で、総会成立の報告。
- III、議事
- 第1号議案 2021年度活動報告
- ・冒頭を清水理事長が報告。理事会は一時期隔月開催と決めたが、いろいろと協議しなければならぬことがあり、メール等のやりとりだけでは意思疎通が難しく、毎月開催に戻した。
 - ・援農活動について北尾理事が報告。9月に中学校給食センター元横山が開所した。前年度は学校給食や「道の駅」の休業もなく、援農時間は1,236時間増となった。
 - ・農地応援活動について清水理事長が報告。久保山農園は八王子市の市民農園だったが、あとを引き継いだ。市は1区画10㎡、100近くの区画で運営していたが、当会は管理上の問題もあり、1区画30㎡、34区画とした。気軽に農ライフを楽しんでもらおうというコンセプトのもと、他の農園は50㎡だが、30㎡とし、共用の農具を備え、水道設備と駐車場も完備させた。住宅に囲まれているので、路上駐車防止や景観等にも配慮した。7カ所の市民農園合計の総面積は8,721㎡、区画の総面積は6,000㎡強である。
 - ・地産地消活動について佐藤理事が報告。八王子産野菜のおいしさを知っていただき、八王子の農地を身近に感じてほしいとの思いで活動。「冬の地場野菜料理教室」は応募も多かったが、コロナ禍なので中止した。竹の子掘りとブルーベリー摘みは会員外の参加もとても多く、小学生や未就学児のお子さんに喜んでいただけた。
 - ・その他の活動を飛田理事が報告。
 - ・第1号議案は、採決の結果、賛成93名により可決した。
- 第2号議案 2021年度決算報告・・・青山理事より報告。援農者への謝礼金を時間当たり500円としたこともあり、46万円のマイナス収支となった。
- 第3号議案 2021年度監査報告・・・会計監査について鳴海監事より報告。
- ・第2号、第3号議案ともに、採決の結果、賛成93名により可決した。



第4号議案 2022年度活動計画案

- 運用体制について清水理事長より提案。2021年度は農園を2つ開設したが、利用申し込みはほとんどホームページからのものだった。2020・2021の2年間は剰余金を取り崩した。今年から農家さんの負担増となるが、援農謝礼金を改定した。スタッフ業務の手当の見直しを検討していく。
- 援農活動について北尾理事より提案。援農窓口会議は3回を予定。安全対策として、入会者には資料（援農のしおり、ひやりハット集）をお渡ししている。安全講習会の実施も検討する。目標援農時間を2021年度と同じ2万時間とする。新入会員・学校給食センターの増設などの増加要因もあるが、自然災害の発生やコロナ禍等の減少要因もあるため。
- 農地応援活動 清水理事長より提案。青空ファームは早くも全区画埋まった。9番目の農園は、6月開設を目指している。3年間で矢継ぎ早に市民農園を増やしたため、事務や現場の管理体制の強化を図る。農業に対するニーズは、近年、とても高い。
- 地産地消活動 佐藤理事より提案。イベントは会員の交流の場でもあるので、すすめていきたい。規格外野菜がたくさんあることがわかり、少しでも有効活用したい。
(質問) 会報は全員に渡っているか。援農窓口として援農依頼を流しても送信不可の人が何人もある。個人的には会報を印刷して農家に持って行って渡している。
(回答) 会報は、メールまたはファックスで送信しています。残念ながら、何れもお持ちでない方には配信できていません。どのように対処するかについては、今後の課題とします。
- 第4号議案は、採決の結果、賛成93名により可決した。

第5号議案 2022年度予算案・青山理事より提案。

- (質問) 支払い手数料はいくらか。
- (回答) 1件あたり66円となっている。
- (意見) 援農謝礼金の支払いを2か月毎にしてはどうか。
- (回答) 2か月毎となると、事務作業が煩雑になる。支払い手数料が減るという点では、経費削減になるので、検討します。
- 第5号議案は、採決の結果、賛成93名により可決した。



IV、議長解任

V、あらかじめ提出いただいた質問とそれらに対する回答および意見

- (質問1) 『農家と一般会員の援農コーディネート運用体制』〈2017年12月〉の最新版の発行及び月報での農家紹介記事のシリーズ化を希望。
- (回答) 入会された方などに、どんな農家があるかを紹介するため、希望があれば農家一覧表をお渡ししています。全員への配布はしていませんが、ご希望があればお渡ししますので、お申しつけください。会報に農家紹介記事を載せてほしいというご要望については、過去にも散発的に載せていましたが、これからも取り組んでいきたいと思えます。
- (質問2) 援農作業に対する農家の方々の評価・要望などについて役員会のレベルで共有されていることがありましたら、今後の参考のために何らかの形で公開してください。
- (回答) 2020年12月にアグリタウンが当会会員宛アンケート調査を行い、2021年7月に報告書をいただいた。その中に該当する項目があるので紹介します。すしろ22の援農活動に対し、「大いに評価する」「評価する」という回答がある一方、「援農者との関係で困っていることや困ったことなど」という質問に対し、「収穫の際の丁寧さに欠ける」「技術不足」「援農日数が少ないため交流機会がない」という回答も挙げられています。尚、報告書は、希望者に貸し出します。
- (意見1) 総会へは欠席しますが、活動には期待しています。援農は大助かりです。
- (意見2) 大変丁寧でしっかりした議案書を拝見し、びっくりしました。全幅の信頼を寄せています。